



自分たちの手で

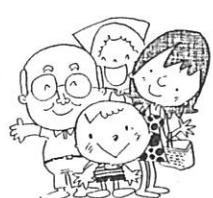
助けあいの生活を

「高齢者給食会はじまる」

世田谷区が自治体として、高齢者（65才以上）対象の給食、配食活動に取り組んだのは、今から12年前になる。「給食サービス事業」は、地域活動が活発なところからひろがりはじめ、29団体10個人、協力員六二〇余人、給食登録者九〇〇余人になっている。この他にサービス公社、新樹苑なども地域活動として配食事業を進めている。

生き甲斐ある日々を送るにはどうしたらよいかという思いが込められている。区の助成対象は限られているので、老人クラブの主要行事としても位置づけ、お互いに会食をとおしての楽しい交流の場づくりにしようという願いが少しづつかなえられて来ている。

閉じ込もって元氣のなかつた方がこの一年の間に元氣を取り戻して、逞しく暮らせるようになつたと言つていい人々をみると、給食会は例え月二回であつても会食をとおして実に多くのことで高齢者を励まし、地域での生活に活気を取り戻し、互いの協力関係も大きく伸びる場を提供していると思ふ。



日赤社販

給食会 三 井 勝 雄  
★ 私たちの地域の一人ぐらし  
老人は、二九一名です。

を希望され

発行：編集委員会  
編集：板橋昇  
責任者  
事務局：船橋出張所内  
電(3482)0341  
1993年7月 N.O. 4 3

食会としては月二回を定例として活動していることになる。

— その 5 —

# 学校だより —その5— **大東学園高校**

〔主事 久保勝彦〕



大東学園高校は、今から十一年前、世田谷の南部・上野毛から船橋七丁目に移転してきました。現在では一千六百名の生徒が、京王線小田急線を利用して、都内全域、神奈川、埼玉から通学しています。もちろん行政区別では、世田谷から通学する生徒が一番たくさんいます。専門学校（英語英文・ビジネス）も併設しています。

私達は、教育目標の中に「人間としての尊厳」を掲げ、生徒の自由性を尊重しながら、すべての生徒のもつている可能性を最大限開花させることを日常の教育活動の



などの普活動も沿革にならないま  
す。毎年十一月三日に開かれる文  
化祭では、この二年ねぷたや蛇お  
どりをかかえて学校周辺にくりだ  
しました。入場も地域の方は自由  
です。バザーもありますので、ぜ  
ひご覧ください。私学で公立の小  
中学とは条件も違いますが、地つ  
づきの地域に根ざし、支持される  
学校をめざしたいと考えています。

などの音活動も演奏になってしまふ。毎年十一月三日に開かれる文化祭では、この二年ねぶたや蛇おどりをかかえて学校周辺にくりだしました。入場も地域の方は自由です。バザーもありますので、ぜひご覧ください。私学で公立の小中学とは条件も違いますが、地つづきの地域に根ざし、支持される学校をめざしたいと考えています。生徒の登下校の際は、私たちの教育のいたらない点もあり、いろいろ迷惑をおかけしていますが地域の学校のひとつとして今後ともよろしくお願ひします。

力し、助け合う活動が、いまこそ地域に求められているのではなかろうか。

## 身近なまちづくり

新しい推進員がきました

身近なまちづくり推進員制度が発足して、今年で六期（一期二年）を迎え、五月七日には、新委員の委嘱式が行われました。

今後とも、船橋・千歳台地区の住みよいまちづくりに、一層のご活躍をよろしくお願ひします。



地区	筆名	緑化	安 全	健康づくり	美化清掃
船 橋	芹澤 正利	高橋 和雄	○金澤 和子	○高橋 重信	
船 橋	○鈴木 幸次	平野 藤次郎	安藤 芳子	荻原 和恵	
柏原4丁目住宅	瀬野 俊雄	雨宮 昭二	大島 武司	○小山 鹿	
葭 根	○黒田 實之助	時田 庄一	六馬 房子		
宇井畠地地区会員	山縣 佳子	幡生 康壽	○駒井 登證	石合 幸雄	
希望丘園地自益会	柏倉 正勝	足立 秀記	田 中理輔	篠原 和子	
千 歳 台	平沼 平蔵	○島田 彌太郎	遠田 敏夫	遠田 千代子	

[注] ⑩は部会長 ⑪は副部会長

日赤地区献血を次のとおり  
行います。

皆様のご協力をお待ちして  
います。

水道道路を歩いてみました。  
身近なところに意外な発見がありま  
した。皆さんもまちを歩い  
てみませんか、新しい発見が見  
つかるかも……〔K・H〕

お知らせ

コンクリート  
金物  
ガソリンスタンド

題をいえよう。	鉄 助 リ ケ ン ク リ ト 金 装	1000 円 上 水 道 石 渠 水 場 あり	1100 円 工 業 用 水 道 破 管 渠 水 場 あり
土地圖の記号	○	コ ン クリ ート 厚 さ 5 cm の	
店 舗	●		
社 場	■		
会 工 業 工 場	○		
院 病 院	○		
GS	(M)	ガソリンスタンド	

水道管 1000ミリと1100ミリの水道管が道路の下に埋設されている。管は錆鉄管である。昭和23年に荒玉町水道組合が引き、石古津水場から大谷口給水場まで、1100ミリの錆鉄管を、1.2~1.4mの深さに埋設した。当時は、この道路は、水道管布設用地であって、道路ではなかった。昭和7年に東京市が買収した。昭和33年に1000ミリの管が増設された。昭和35年の4月に正式に道路となった。水道管保護のため、閉鎖装置や、各所に車止めの鉄柱が立ち、大型車が入るまいようにしてある。鉄柱と交通事故等、現在の問題提起されている。

沿道のようす

千歳駅橋駅に近い富国生命より南は早く宅地化されたが、北は農地が多くあった。大島分譲地が売り切られたのが昭和25年ごろだった。富士特種工業KKが古くからあり、工場から北側・仙川通りまで(大島分譲地北含む)が革工革地域で、工場が多く建つようになった。

現在は工場跡にはマレーショントンが建ち、店舗も今にもあちこちで建られるようになった。

水道局南部第二支局

管内に水道々路は人跡を絶たず、音を立てるは、草木

沿道のようす

千歳橋駅に近い富国生命より南は早く宅地化されたが、北は農地が多くあった。大島分譲地が売り出されたのが昭和25年ころだった。富士特種工業KKが古くからあり、工場から北側・仙川通りまで(大島分譲地北側)が革工革地域で、工場が多く集つようになつた。

現在は工場跡あるいはマレーショーなどが建ち、店舗もあちこちで残られるようになつた。